

事務事業チェックシート

事務事業No 762 事業名 まちづくり支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	2	各地域における魅力的なまちづくり
施策	1	各地域における魅力的なまちづくり
取組方針	2	地域まちづくり活動の推進

事業種別	継続		
事業期間	H25 ~		
事業実施の根拠法令	都市計画法全般		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	都市再生課	尼岡 大芳	435-1048
関連課	道路政策課・文化振興課・観光課・公園緑地課・農林水産課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		都市計画費	
	目		都市計画総務費	
	大事業		都市計画総務事業	
中事業		まちづくり支援事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 便利で魅力的なまちづくりを進めるため、地域住民が主体となっていくまちづくりに関する支援を行うとともに、歴史・文化、自然をはじめとする地域特性を生かした個性的なまちづくりを推進する。		全体事業概要 ・地域まちづくり支援に関する事務。 ・砂山、今福地区のまちづくり支援に関する事務。 ・和歌の浦まちづくり支援に関する事務。 ・四箇郷地区まちづくり支援に関する事務。 ・歴史的風致維持向上計画に関する事務 ・都市再生推進法人に関する事務			
	事業内容	平成27年度 ・地域のまちづくり活性化 ・砂山、今福まちづくり支援 ・和歌の浦まちづくり ・四箇郷地区まちづくり支援 ・まちづくり整備計画の策定	平成28年度 ・地域のまちづくり活性化 ・砂山、今福まちづくり支援 ・和歌の浦まちづくり ・四箇郷地区まちづくり支援 ・まちづくり整備計画の策定	平成29年度 ・地域のまちづくり支援 ・砂山、今福まちづくり支援 ・和歌の浦まちづくり支援 ・四箇郷地区まちづくり支援 ・歴史的風致維持向上計画の策定	平成30年度 ・地域のまちづくり支援 ・砂山、今福まちづくり支援 ・和歌の浦まちづくり支援 ・四箇郷地区まちづくり支援 ・歴史的風致維持向上計画 ・都市再生推進法人	平成31年度 ・地域のまちづくり支援 ・砂山、今福まちづくり支援 ・和歌の浦まちづくり支援 ・四箇郷地区まちづくり支援 ・歴史的風致維持向上計画 ・都市再生推進法人

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,102	1,466	3,750	2,137	11,335	10,727	20,186		20,186	
伸び率(%)	-	-	240.3%	45.8%	202.3%	402.0%	78.1%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	11,332	16,062	16,062	21,023	23,511	24,114	39,056		39,056
	正規職員以外	0	1,685	1,685	1,893	2,306	2,306			
	小計	11,332	17,747	17,747	22,916	25,817	26,420	39,056		39,056
国庫支出金		306			4,682	4,821	7,508		7,508	
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	1,102	1,160	3,750	2,137	6,653	5,912	12,678		12,678	
所要人数(人)	正規職員	1.52	2.16	2.16	2.65	2.96	3.03	4.9		4.9
	正規職員以外	0.00	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	0		0
主な予算内訳	委託料15,417千円 手数料2,060千円 交付金2,000千円 等									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 まちづくりWS開催回数	回	目標値					
		実績値					
		達成度(%)					
活動指標 地域のまちづくり組織等の設立数	人	目標値					
		実績値	3	3	3		
		達成度(%)					
成果指標 「快適で暮らしやすい住環境」に対する市民満足度	%	目標値	28.3	29.2	30		
		実績値	30.7	31.3			
		達成度(%)	108.5%	107.2%			
成果指標 「地域住民のふれあい活動」に対する市民満足度	%	目標値		12.7	13.5	14.2	14.9
		実績値	12	12	7.5		
		達成度(%)		94.5%	55.6%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>今までの行政主導のまちづくりでは、今般の社会情勢や財政の面からも限界があると考えられ、今後は、住民主体による地域特性を生かした個性的で魅力的なまちづくりの重要性が増してくると思われる。また、住民主導のまちづくりに転換していくことにより、住民満足度の高い効果的・効率的なまちづくりが可能となると考えられ、その支援のあり方や取り組みに関する仕組みづくりを構築していく必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>先進市の事例や各種既存制度等の研究及び本市の地域まちづくりに関する状況を整理し、将来に向けた「まちづくり支援」のあり方を検討するとともに、砂山・今福地区での取組状況等を参考にして、地域まちづくりの活性化を促す制度や支援する制度の構築等を検討する。また、歴史・文化、自然をはじめとする地域特性を生かした個性的なまちづくりを推進する。</p>